

2000年度 情報検索基礎能力試験

試験問題

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、10:30~11:30の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は16問、8ページ、解答用紙は2ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問1 次の論理演算と論理演算子に関する記述の文章について(A)～(F)に適切な語を解答群から選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

「図書館におけるコンピュータ」に関する文献を検索する場合、論理演算は(A)が使用され、論理演算子は(B)が用いられる。また「図書館や文書館」という検索については(C)が使用され、(D)が用いられる。さらに「ワークステーションを除いたコンピュータ」という検索では、(E)が使用され、(F)が用いられることになる。

解答群

1 . OR	2 . NOT	3 . AND
4 . 論理和	5 . 論理差	6 . 論理積

問2 次の(A)～(H)の記述に適したオンライン情報検索システム名として最も適切な語句を解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 日本最大の企業情報を提供
- (B) 新聞・雑誌記事情報を提供
- (C) 科学技術・国内医学分野等の文献情報などを提供
- (D) 学術雑誌・図書の内容情報、国内学術文献情報、研究者履歴情報などを提供
- (E) 人物情報、図書内容情報、雑誌記事情報などを提供
- (F) 日本の特許、実用新案、意匠、商標情報を提供
- (G) 世界中の全分野の学術雑誌論文、特許、新聞、市場情報、企業情報などを提供
- (H) 日本、アメリカ、ドイツ3カ国のセンターを相互に接続したシステム

解答群

1 . DIALOG	2 . JOIS	3 . ELNET	4 . NICHIGAI ASSIST
5 . STN International	6 . NACSIS-IR	7 . PATOLIS	8 . COSMOSNET

問3 「JICST科学技術用語シソーラス」中の記号の表記について(A)～(E)に適切なものを解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(語の関係)	(表記)	(表記の後に示される語)
同義関係	(A)	ディスクリプタ
	(B)	非ディスクリプタ
階層関係	(C)	上位にある語
	(D)	下位にある語
関連関係	(E)	関連関係にある語

解答群

1 . BT	2 . RT	3 . USE	4 . NT	5 . UF
--------	--------	---------	--------	--------

問4 次の文章は抄録の特徴に関する記述である。(A)～(D)の文章に対して最も適切な用語を解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 原文を読まなくても、内容の要点が理解できる。
- (B) 比較的客観的で内容の偏りが無い。
- (C) 原文と同時に入手できる。
- (D) 原文を読む必要があるかどうかの判断ができる。

解答群

1. 著者抄録	2. 指示的抄録	3. 報知的抄録	4. 第三者抄録
---------	----------	----------	----------

問5 次の(A)～(G)のテーマを検索する場合、どのようなデータベースがよいか。最も適切なものを解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) コンピュータの液晶ディスプレイに関する論文
- (B) 子供の心理構造に関する論文
- (C) 航空機騒音をめぐる判例
- (D) 図書館サービスの評価に関する論文
- (E) ゲノムに関する論文
- (F) 教育の国際化に関する論文
- (G) 通気性粘着テープの特許

解答群

1. PsycINFO	2. LEXIS	3. CLAIMS	4. INSPEC
5. ERIC	6. LISA	7. BIOSIS Previews	

問6 次の(A)～(E)の情報探索に最も適した二次資料を解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 化学分野の学術論文を、海外のものを中心に探したい。
- (B) アメリカで出版されたある図書が現在でも購入可能かどうか調べたい。
- (C) 1992年頃に我が国で出版された「図書館」に関する図書にどのようなものがあるかを調べたい。
- (D) ある洋雑誌を所蔵している我が国の図書館を知りたい。
- (E) ある文献を引用している文献のリストをつくりたい。

解答群

1. Social Science Index	2. 日本書籍総目録
3. Index Medicus	4. Chemical Abstracts
5. 日本人名図書目録	6. 学術雑誌総合目録
7. Books in Print	8. Ulrich's International Periodicals Directory
9. 雑誌記事索引	10. Science Citation Index

問7 次の文章の(A)～(E)に入る最も適切な語句を解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

継続的に刊行される出版物である(A)は、さらに、定期的に刊行される定期刊行物とそうではない非定期刊行物とに分けることができる。学術雑誌は、この(A)の一種であり、学術的な情報の流通・伝達のための最も基本的なメディアである。そのうち、特に学会が発行するものは学会誌、大学や研究機関が発行するものは(B)と呼ばれる。このような雑誌には、それらを一意的に識別するための国際コードである(C)が付与されている。

学術雑誌のほかに、学術情報のための重要なメディアとして、会議資料がある。会議資料には、会議の事前に配布される(D)や、会議後にその記録をまとめた会議録などがある。これらの会議資料は、比較的入手しにくく、いわゆる(E)の一種に含められることも多かったが、近年では、インターネットで入手できるケースも増え、研究資料としての重要性を増しつつある。

解答群

1. ISBN	2. 予稿集	3. テクニカル・レポート	4. ISSN
5. 灰色文献	6. レター誌	7. 紀要	8. 一次資料
9. 逐次刊行物	10. 索引誌		

問8 次の(A)～(E)の各文章について、正しければ○を、誤っていれば×を解答欄に記入しなさい。

- (A) 図書館において各図書の配架位置を一意に決めるために使われる分類を書架分類という。
- (B) 十進分類法の特徴は、ファセットにもとづく区分原理を応用して、多面的に主題を表現できる点にある。
- (C) NDC(日本十進分類法)は日本で最も普及している分類法で、小数点以下を含む数字から成る記号によって各主題を表す。
- (D) UDC(国際十進分類法)は、米国のデューイによって開発された分類法で、英米の公共図書館で広く使われている。
- (E) 図書館では、分類記号と著者記号などを組み合わせて、請求記号を設定することが多い。

問9 次の文章の(A)～(D)に適切な語を解答群から選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

近年のインターネットの爆発的な普及にともなって、1990年代半ばに(A)が登場すると、情報検索がより一般の人々に浸透するようになった。主な(A)にはahoo!や(B)などがあり、基本的には(C)のページを検索対象としている。特に(C)の(D)を活用した検索システムは、操作性や見やすさの点で非常に優れている。

解答群

1. goo	2. GUI	3. サーチエンジン	4. WWW
--------	--------	------------	--------

問10 次の検索の流れの図中の(A)～(D)に入る最も適切な語句を解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

データベースと検索システムの選択
(A)
(B)
ファイルの接続
(C)
(D)
検索結果の評価と分析

解答群

1. 検索式の入力	2. 検索語の選択	3. 検索結果の出力
4. 検索式の作成	5. 原資料の取り寄せ	

問11 再現率、精度を求める場合、次の(A)～(D)に入る最も適切な語句を解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

$$\text{再現率} = \frac{\text{(A)}}{\text{検索された適合情報} + \text{(B)}}$$
$$\text{精度} = \frac{\text{(C)}}{\text{検索された適合情報} + \text{(D)}}$$

解答群

1. 検索された適合情報	2. 検索されなかった適合情報
3. 検索された非適合情報	4. 検索されなかった非適合情報

問12 次の文章の(A)～(E)に入る最も適切な語句を解答群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

図書や雑誌などのようにオリジナルな情報を含んだ資料に対して、辞書や事典、あるいは書誌や索引誌などは、特に(A)資料と呼ばれる。これは、これらの資料が、図書や雑誌論文などに含まれるオリジナルな情報を、加工、編集、(B)したものであることによる。このうち書誌や索引誌は、図書や雑誌論文などの文献を探すための道具であり、このような資料としてはそのほかに(C)や(D)などがある。しかし、書誌や索引誌は、どのような図書や雑誌論文が存在するかを示すのみであり、次の段階として、その図書や雑誌論文を入手する作業が必要になる。このためには各文献がどの図書館に所蔵しているかを調べることのできる(D)が欠かせない。(D)によって所蔵館が特定できれば、相互貸借のシステムを利用できる。あるいは、特に雑誌論文の場合には、相互貸借以外にも、(E)サービスを使えば文献のコピーを入手できることも多い。

解答群

1. 圧縮	2. ILL	3. 一次	4. 二次
5. 文献デリバリー	6. 件名目録	7. 評価	8. 総合目録
9. 抄録誌	10. レター誌		

問13 次の(A)～(E)の説明に最も適切な語句を解答群の中から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 著作権に関する国際的な条約で、著作権は著作物を創作した時点で自動的に発生するという考え方に基づくもの。
- (B) 我が国の代表的な集中的権利処理機構で、著作物利用者から使用料を徴収して、著作権者に分配する代行機関。
- (C) 国際的な知的所有権保護の改善および促進を目的として設立された機関。
- (D) 国際的な標準化およびそれに関連した活動をおこなっている機関。
- (E) 科学技術情報の生産や処理・流通を促進する目的で科学技術庁が進めている標準化。

解答群

1. JICST	2. ISO	3. ベルヌ条約	4. 万国著作権条約
5. 日本複写権センター	6. JIS	7. SIST	8. JAS
9. WIPO	10. 国立情報学研究所		

問14 次の(A)～(G)の各文章について、正しければ○を、誤っていれば×を解答欄へ記入しなさい。

- (A) シソーラスを使用して索引語を付与しているデータベースでは、情報蓄積作業の場合にも、情報検索の際にもこのシソーラスを使用することが原則である。
- (B) すべてのデータベースは、利用に際し使用料金を支払わねばならない。
- (C) インターネット上に公開されたすべての情報は、著作物とはみなされないため、著作権法により著作者の権利は保護されない。
- (D) インターネット上の情報を検索するサーチエンジンは、1種類使用すれば、網羅的な検索がおこなえるので、複数を利用する必要はない。
- (E) オンライン情報検索は、一般的にCD-ROMによる情報検索より蓄積情報のタイムラグが少ないのが特徴といえる。
- (F) CD-ROMに使用されている情報検索ソフトウェアは、すべてのデータベースCD-ROMに対して共通で使用できる。
- (G) 情報検索システムに転置ファイル(インバーテッドファイル)技術を利用する事の利点は、大規模なデータベースであっても検索処理速度の向上が期待できるからである。

問15 次の文章は、データベースの種類に関する記述である。(A)～(M)に適切な語を解答群から選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

情報管理の分野で資料(情報)は、一次資料(一次情報)と二次資料(二次情報)に大別することができる。データベースも、この分類になぞらえることができ、一次情報のデータベースと二次情報のデータベースに分類することができる。

一次情報のデータベースは、一般に(A)データベースあるいは、ソースデータベースと呼ばれ、オリジナルな情報を収集・蓄積したデータベースである。これらは、さらに蓄積される情報の形態により、(B)や(C)、レポートなどの全文を収録した文字情報のデータベース(全文データベースあるいは、(D)とも呼ばれる)、統計データや数表など(E)のデータベース、動画をデータベース化した(F)のデータベース、静止画を蓄積した(G)のデータベース、さらには、(H)のデータベースなどに分類可能である。

一方、二次情報のデータベースは、一般にリファレンス(レファレンス)データベースあるいは、(I)データベースなどと呼ばれている。このデータベースは、さらに(J)のデータベース、および一次情報を集約・圧縮し蓄積した(K)のデータベース、さらには、上記両方の性質を併せ持つデータベースとに分けることができる。(J)のデータベースの例として、目録や書誌、索引類のデータベースがあげられる。(K)データベースの例として、辞典や事典、図鑑、地図などのデータベースが考えられる。さらに(J)と(K)の機能とを併せ持つデータベースとして、いわゆる(L)のデータベースがあげられる。

二次情報のデータベースは、1950年代にコンピュータを利用した書誌や抄録などの二次資料の編集・印刷作業の副生成物として登場し、最も古い歴史を持つ。“(I)データベース”あるいは、“レファレンスデータベース”の名称もこれに基づく。二次情報のデータベースは、それゆえ、文字情報を蓄積したものが多く傾向にある。当初は、データベースというとこれら二次情報のデータベースが中心であったが、1980年代頃より一次情報のデータベースが逆転し、現在では8割以上を占めるようになってきている。

なお、情報処理技術の進歩に伴い、1990年代に入って文字、画像、映像、音声などのさまざまな形態をとる情報を同時に組み合わせて蓄積可能な、いわゆる(M)データベースが出現し、普及しつつある。これらは、個々のデータベースにより内容が千差万別であり、一次情報、二次情報という分類をする事が難しく、別のカテゴリーに分類される場合が多い。

解答群

1. ファクト	2. 数値情報	3. 映像情報	4. 音声情報
5. 文献	6. 一次情報の所在や存在を案内指示する二次情報		
7. 事実解説的な二次情報	8. マルチメディア	9. 抄録	
10. 画像情報	11. フルテキストデータベース	12. 図書	13. 新聞記事

問16 A群と最も関連のある用語や解説をB、C、D群からそれぞれ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

A 群	B 群	C 群	D 群
ア．論理演算子	1.近接演算子	1.モレとノイズ	1.検索者が入力した文字列が索引中に部分的に含まれるレコードを漏れなく検索する
イ．トランケーション	2.部分一致検索	2.隣接演算子	2.索引語の位置情報を持つインバートドファイルを利用し、検索語同士の位置関係を指定して検索する
ウ．位置演算子	3.統制語彙	3.AND OR NOT	3.検索式中の検索語間の論理的关系を指定
エ．フィールド指定	4.データの基地	4.NT BT SN RT	4.レコード中のフィールドを指定して検索をおこなう
オ．シソーラス	5.検索効率	5.前方一致 後方一致	5.検索結果評価のための尺度
カ．再現率と精度	6.フィールド検索	6.精度の向上	6.検索語の語彙を統制し、ディスクリプタと非ディスクリプタ間の参照、ディスクリプタの意味範囲や使い方、ディスクリプタ間の意味上の階層関係や関連性を示した一種の辞書
キ．サーチエンジン	7.ブール演算子	7.ホームページ	7.インターネット上に公開されたページ形式の情報を検索する
ク．データベース	8.インターネット	8.オンライン/オフライン(オンディスク)	8.論文、数値、図形その他の情報の集合物であって、それらの情報を電子計算機を用いて検索することができるように体系的に構成したものをいう